

緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.193

発行:令和3年12月1日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況などによって中止、または、内容を変更させていただくことがあります。あらかじめ、ご了承くださいませよう、お願いいたします。

講習会のご案内

(お申込み・受付は前月の20日から)

「多肉植物でクリスマスリース作り」

とき 令和3年12月5日(日) **2,500円**

午後1:00~3:00 定員10名

講師 フラワーマスター 山本 裕美 さん



「コキアでほうきを作ろう」

とき 令和3年12月18日(土) **500円**

午後1:00~3:00 定員10名

講師 緑のセンター職員



「麻ひもで編むフラターハンガー作り」

とき 令和3年12月19日(日) **500円**

午後1:00~3:00 定員5名

講師 緑のセンター職員



講習会の開催予定 (講習会のお知らせ等につきましては、緑のセンターだより、市民広報等でお知らせいたします)

*令和4年2月*ハーブ講座

2月*果樹の剪定と栽培管理

2月*神楽岡公園 冬の自然観察会

3月*フラワーアレンジメントづくり

歩くスキーセットの無料貸出

①スキー板 ②スキーポール ③スキー靴(靴のサイズ調整のため、靴下ご持参ください)

時期:12月中旬を予定

受付時間:10時~最終16時まで(積雪、コース状況などは電話でご確認ください)



年末年始のお知らせ

いつも 緑のセンターをご利用いただき ありがとうございます

2021年12月30日(木)~2022年1月4日(火)日まで 休館いたします

新年は1月5日(水)より 開館となりますので どうぞよろしくお願ひいたします

展示会のご案内

「神楽岡公園の四季写真展」 * 2021年12月 1日(水)~12月26日(日) * 作品提供:板垣 吉春 さん

「神楽岡公園の自然写真展」 * 2022年 1月 8日(土)~ 2月27日(日) * 作品提供:阿久津 弘明 さん

【休館日のお知らせ】

4月~10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月~ 3月は毎週月曜日が休館日です。(")



〈園芸の基礎知識〉 植物の生き残るための争い

～「虫」を誘うための戦い～

■多くの植物が「自家受精」を好まない理由

自分の花粉を自分の花のメシベにつけてタネをつくることを「自家受精」といいます。しかし、多くの植物は自家受精を好みません。自家受精でタネをつくると、自分と同じような性質の子どもばかりが生まれるからです。それだけでなく、普通に花粉をつくる親であっても、「花粉をつくらない」という性質を、隠し持っていることがあります。この親が自家受精すると、子どもにも「花粉をつくらない」という性質が発現してくることがあるからです。

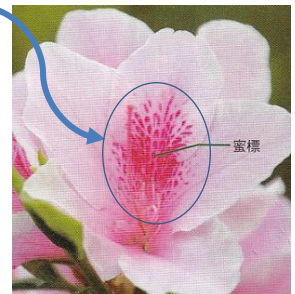
■子孫の「多様性」が命をつなぐ

植物たちの子どもをつくる目的は、子どもや仲間の個体数を増やすためだけではありません。自分たちの命を次の世代へ確実につないでいくために、さまざまな環境でも生き残ることができる、いろいろな性質の子どもが生まれることが望めます。そのために、オスとメスに性が分かれた多くの植物は、自分のメシベに他の株に咲く花の花粉をつけようとします。一方で、自分の花粉を他の株に咲く花のメシベにつけたいのです。そうすれば、自分の性質と他の株の性質が合体して、いろいろな性質の子どもが生まれるからです。

■植物たちは、虫たちを色香で惑わす

植物たちは、虫を誘い込むため、きれいな色や目立つ色で花を飾り、いい香りを漂わせます。つまり、「色香」で虫たちを引き寄せるのです。さらに、おいしいごちそうとして花の蜜を準備しています。しかも、手土産として背中やおなかにつく花粉を持たせることが、植物たちの目的なのです。花には「蜜標」という模様をもつものがあります。蜜標が「蜜のある場所はこちらですよ」と虫に教えているのです。

蜜標



(参考資料: SB ビジュアル新書「植物のすさまじい生存競争」ほか)

ちょっと楽しい講座のご紹介

緑の講習会「押し花カレンダーを作ろう」講座から

毎年、秋には「来年のカレンダーはどんなものにしようかな」と思い始める時期です。

当センターでは、干支を織り交ぜた「押し花カレンダーを作ろう」の講習会が2021年11月7日(日)に開催されました。

講師は、押し花サークル「つくしんぼ」の4名の皆様です。参加者おひとりずつに用意された、色鮮やかな押し花15種類を利用してお手本を見ながら自分なりの絵を作っていきます。

作りはじめは「この辺りに、この花を貼っているの?」と、サークルの方にお手伝いをいただきながら、しだいに自分のペースで貼り終わると、ラミネートフィルムをかけて、オンリーワンのカレンダーが完成しました。

2022年の干支は五黄の寅というとても縁起のよい年です。親子の寅模様も葉っぱで作られていて、とても愛らしくでき上がりました。

参加者の方からは、「想像していた以上に素敵に仕上がりました」「一年間、毎日見るカレンダーですから一味違います」と喜びの声が聞かれました。

緑のセンターでは、夏にも素敵な押し花作品を展示しています。



植物の病害虫

その64 「2021年 問い合わせが多かった病害虫」

緑のセンターに問い合わせが多かった病害虫は、1 カイガラムシ、2 ウドンコ病、3 ブドウハモグリダニ、4 果樹のシンクイムシ類、5 トマトの尻くされ症などでした。来年度の参考にしてください。

1 カイガラムシ（イチイ、ツツジ、ウメなど）

カイガラムシは日本国内ではおよそ 400 種類が確認されています。イチイに寄生するカイガラムシの代表は、イチイカタカイガラムシで年1回発生します。これ以外にアオキシロカイガラムシ、イヌガヤワタカイガラムシ、スギマルナカカイガラムシの3種類が日常的にみられています。カイガラムシの産卵は6～7月です、産卵数は一個体 200～400 卵で7月に羽化します。7月以降に茶色のカイガラが形成されてから目立つようになります。

防除方法: ブラシなどで擦り落とす。農薬散布は、果樹の休眠期に石灰硫黄合剤を 10 倍液で散布し、6～7月にマラソン乳剤「商品名: マラソン乳剤」の 1000 倍液を散布します。

2 ウドンコ病（キュウリ、シャクヤク、ベリー類など）

キュウリ栽培では必ずといってよいほど発生する病害で主に葉に発生します。発病は下の方の葉から始まり、しだいに上の葉へと進行し、葉面に「うどん粉」をまぶしたような白いかびが生えます。

防除方法: 窒素肥料を少なめにし、株・葉の間を開けて風通しと土壌の排水性を良くします。予防的防除には TPN「商品名: ダコニール 1000 フロアブル」を 1000 倍に薄めて散布します。治療的防除には炭酸水素ナトリウム「商品名: カリグリーン」を 800 倍に薄めて散布します。

3 ブドウハモグリダニ

被害はブドウの葉に発生します。春の若葉から被害が始まり、秋まで続きます。ハダニが発生した葉は表面にコブが現れ、その葉裏は褐色になります。多発すると葉が裏側に曲がり、ブドウの生育が衰えます。

防除方法: ブドウの休眠期(3月末)に石灰硫黄合剤を 10 倍に薄めた液を散布します。

4 ナシヒメシンクイムシ(リンゴ、モモ、ナシ、スモモ、ウメ、)

ナシヒメシンクイムシは、ナシの害虫ですが多くの果樹に被害を及ぼします。幼虫は、ナシの新梢を食害し、芯折れの被害を引き起こします。7月以降になると、なしの果実を食害します。果頂部から侵入することが多く、果頂部に細かい虫糞を出します。

防除方法: アセタミプリド水溶剤「商品名: モスピラン顆粒水溶剤」4000 倍、DMTP 水和剤「商品名: スプラサイド水和剤」1500 倍、ダイアジノン水和剤「商品名: ダイアジノン水和剤 34」1000 倍液を散布します。薬剤散布時期の目安は、5/25、6/04、6/14・・・7/5・・・7/25、8/04、8/14 頃になります。

5 トマトの尻くされ症

原因のほとんどは、カルシウム吸収欠乏症による生理障害です。

防除方法: 窒素肥料の施用を過剰にしない。葉面にカルシウム剤を散布します。



イチイカタカイガラムシ

キュウリうどんこ病

ブドウハモグリダニ

リンゴのシンクイムシ

トマトの尻くされ症

お正月に飾る「縁起が良い」とされる木

来年の干支は「寅」。寅年は、成長や始まりの年といわれています。赤い実がなる縁起木を「千両・万両、有り通し」の語呂合わせで寄せ植えを床飾りにして、福德に恵まれる1年を願う人もおられることでしょう。

来年こそはコロナ禍が落ち着き、「健康」で「幸」多い年になりますように・・・！

マンリョウ (万両) …ヤブコウジ科 ヤブコウジ属

「たわわに実るつややかで大きな赤い実は、迎春を飾るにふさわしい。」と人気の縁起木です。「万両」の名の通り、豊かさへの願いを込めて使われています。

センリョウ (千両) …センリョウ科 センリョウ属

花の少ない冬季、みずみずしい緑の葉の上に真っ赤な実を盛り上げるセンリョウも正月に欠かせない花材の一つです。古くから親しまれている縁起木です。

カラタチバナ (百両) …ヤブコウジ科 ヤブコウジ属

和名を漢字で表わすと「唐橘」。7月頃にタチバナの花に似た白い花を咲かせ、実は赤く映えるのでお正月の縁起木に使われます。中国名を「百両金」と書くことから「百両」の名が付き、その後、千両や万両の名がついたと云われています。

ヤブコウジ (十両) …ヤブコウジ科 ヤブコウジ属

寒さが増す時期に真っ赤に実った姿が美しいことから、古くは「万葉集」や「古今集」にも登場する縁起木の一つ。正月を祝う装飾に使うカラタチバナ(百両)に対して小型で実が少ないことから、別名「十両」の名があると云われています。

アリオシ (一両) …アカネ科 アリオシ属

センリョウやマンリョウほど多くの実は付けず、その地味さゆえに別名「一両」の名が付いたと云われています。小さな実をよく見ると先端に蟻の頭のような萼片が残っていて、また、枝が地上低く横に広がるため、蟻ぐらいしか、その下を通ることができない草姿から「蟻通し」という和名になったという説もあります。



展示室の植物 (99)

スパイダーリリー

学名: *Hymenocallis speciosa* ヒガンバナ科 ヒメノカリス属



原産地は中南米や西インド諸島。半耐寒性の球根植物なので、チューリップのように旭川の屋外では育ちません。草丈は60cmほどになります。7～8月に花を咲かせますが、中央に白い朝顔に似たラッパ状の花と、6本のクモの足状に出た細長い花被片(六弁花)、橙色の雄シベがあります。そのユニークな姿からスパイダーリリーと呼ばれています。花色には白の他、黄や緑もあり、バニラのような香りがします。